

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び(正規比率の上昇を含め)や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ(設備投資計画の動向も含む) ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向(一時的要因を除いた実勢と期待物価) ⑤ マーケット(株価、為替、金利等)の動向	景気実感の捉え方、感じ方の格差が大きく広がっている感がある。その上で、賃金の伸びと物価動向は重要だと考える。また、急激な為替変動は中小企業にとって大きなリスクとなっている。中小企業の急激な資金繰りの悪化に対して、地域金融機関が緊急融資等への対応を促す必要がある。急激な円安に伴う中長期にわたるリスクを総合的に捉えていく必要がある。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方にある資金を循環させることが必要。地域金融機関の預貸率の低下は、地方を疲弊させている。それらを活用する方策が求められる。その切り札として、公民の資金を活用する社会的投資などの整備が重要である。その担い手として民による地域創生活動を活発にしていく必要がある。また、補助金のばらまきでなく、地方の創意工夫、努力を促す政策展開を求める。これまでの国と地方の関係を見直し、パラダイム転換を促す必要がある。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	急激な円安は中小企業等の経営を圧迫する。中小・零細に配慮した政策の展開を希望します。